

## 4. 自転車の位置づけと目標の設定

「持続可能なコンパクト・シティへの再構築」を都市づくりの理念とする札幌市は、主として徒歩での移動が可能な身近な生活圏の中で、居住機能を中心として、日常生活を支える多様な機能がまとまりをもって提供され、街の魅力と活力の向上が図られることを重視しています。また「環境低負荷型の交通網をもつ都市の実現」のためには、自動車に依存した生活から、目的に応じて公共交通機関、自転車、徒歩などの多様な交通手段を使い分ける生活の普及が求められます。

自転車は、個人がいつでも使える便利な乗り物として自動車に近い機能を持ち、人間の本源的な移動の欲求を満たすという点で徒歩に近い機能をもつ交通手段です。

また、鉄道やバスなどの公共交通が、特定の場所を結ぶ線的な交通手段であるのに対して、自転車は、自由な方向への移動を可能にする面的な交通手段であり、公共交通や徒歩と連携しあうことができれば、人の移動性を格段に向上させることができます。

このような特性を持つ自転車は、これからの札幌市のまちづくりにおいて、欠くことができない重要な交通手段であるといえます。

一方で、走行空間や駐輪場などのインフラ整備が不十分であることや、道路交通法上「軽車両」の位置づけにあるにもかかわらず歩道を走行することにより、歩行者の脅威となっているなど、本来自転車ももつ特性が十分にいかされていない現状にあることは憂慮すべきことです。

今こそ、自動車中心に進められてきた道路整備を転換し、自転車も重要な交通手段の一つとして位置づけた上で、歩行者や自転車を重視した、人優先の安全で快適な道づくりを進めていくことが必要です。

とりわけ自転車に関わる課題が顕在化している現状を踏まえて、歩行者・自転車・自動車が調和し、おのおのが安心して安全に通行できる道路空間を実現するために、歩行者の安全確保を前提としながら、自転車走行空間を明確にするなど自転車関連の施策を着実に実行していくことが重要です。

以上を踏まえ、札幌市における自転車施策を進めるにあたり実現すべき目標を次のように設定しました。

**目 標** 安全な自転車利用環境の実現による魅力的なまちづくり